

「デコ活」って…?

国では、2022年10月に2050年カーボンニュートラルおよび2030年度削減目標の実現に向けて、国民・消費者の行動変容、ライフスタイル変革を強力に後押しするため、新しい国民運動として「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」を開始しました。

また、2030年7月に、この国民運動が浸透・定着し、国民の皆さまが脱炭素につながる豊かな暮らしを実践していただけるよう、シンプルで親しみやすく、愛着のあるネーミングを国民の皆さまから広く公募し、「デコ活」に決定しました。今後、政府としてこの「デコ活」をあらゆる場面で活用し、企業・自治体・団体などの関係者と連携しながら普及・浸透を図り、脱炭素につながる国民・消費者の行動変容、ライフスタイル転換を一層促します。

デコ活

くらしの中のエコろがけ

▲ロゴマークは、一人ひとりの日常の取り組みが大きくなうねりになる「バタフライエフェクト」をイメージし、蝶のデザインが採用されました。

デ

電気も省エネ 断熱住宅
(電気代をおさえる断熱省エネ住宅に住む)

コ

こだわる楽しさ エコグッズ
(LED・省エネ家電などを選ぶ)

カ

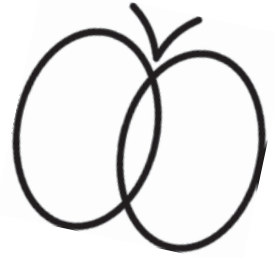
感謝の心 食べ残しゼロ
(食品の食べ切り、食材の使い切り)

ツ

つながるオフィス テレワーク
(どこでもつながれば、そこが仕事場に)



お得に！楽しく！ 「デコ活」のすすめ



生活環境課 TEL 23-7301

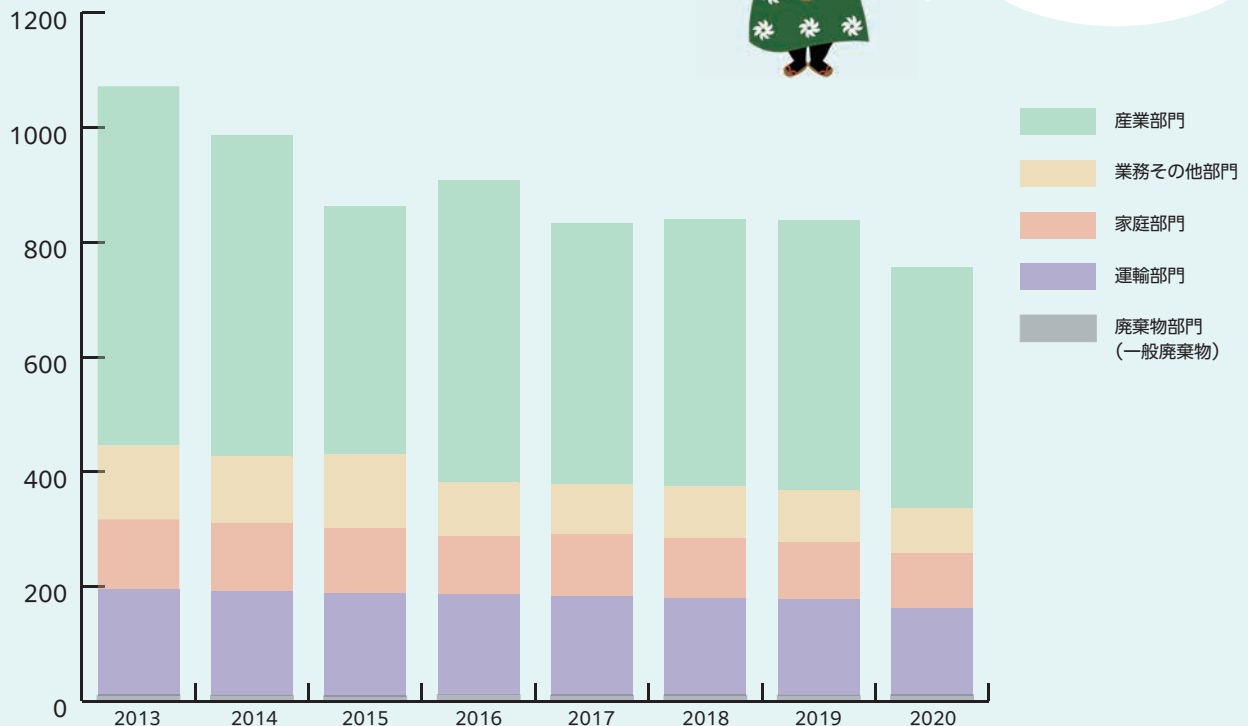
近年、世界で報告されている異常気象、猛暑や豪雨などの原因の一つは地球温暖化と言われており、日本の年平均気温は100年前より約1.28度上昇しています。

石岡市は2022年10月1日の石岡市民の日にゼロカーボンシティ宣言をしました。ゼロカーボンシティとは2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることを市長自ら表明した自治体です。それでは、市全体で脱炭素社会を目指すにはどうすればよいのでしょうか。ここ最近、注目を集めているのは「デコ活」です。本特集ではデコ活について紹介するとともに、家庭でも簡単に取り組めるような事例を取り上げ、市民の皆さまへのご協力をお願いしたいと思います。

石岡市の現状

市域における温室効果ガス排出量の推移

【千t-CO₂】



石岡市の今の状況をチェックしてみましょう!!

中間目標として、2030年度までに、石岡市全域の温室効果ガス排出量を2013年度比46%（二酸化炭素を493千トン）削減を目指します。ゼロカーボンの実現のためには、市民、事業者、市の協力が不可欠です。太陽光発電などの再生可能エネルギーの活用はもちろん、事業所や住宅を建設する際には、可能な範囲でゼロエネルギー化（省エネなどにより二酸化炭素の実質排出量をゼロにする）を検討していただくなど、省エネへのご協力をお願いします。

家庭で簡単に実践！脱炭素につながる取り組み

国が「デコ活（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）」としてさまざまな提案をしている中、ちょっとした心掛けで脱炭素につながる取り組みを考えてみました。家庭でも無理なくできる範囲で、脱炭素を目指して行動してみましよう♪目指せ、地球に優しい行動！！

使わないのではなく、効率を良くして無駄を削減

- ・照明は電力消費が少なく、寿命が長いLEDを選択する。
- ・照明を分割して必要な場所だけ明るくする。
- ・部屋に熱がこもっていたら、換気をしてから冷房をつける。
- ・敷布やカーテンなどで断熱性を高めて空調効率を上げる。
- ・サーキュレーター（送風機）を併用して空調効率を上げることで、全体の電力使用量を下げる。
- ・冷蔵庫は「大きすぎ」にならない大きさの機種を「詰めすぎ」にならないように使う。



食品



必要十分な量を意識しましょう

- ・「食べきり」を意識した買い物で、フードロスも無駄な出費も減らせます。
- ・地元産の食品を選ぶことで、輸送にかかる炭素発生量を減らせます。
- ・簡易包装品や量り売りを選ぶことで、包装分のゴミを減らせます。
- ・生ごみを捨てるときに良く水を切る。これだけでもゴミを減らせ、ゴミ処理の効率が上がります。
- ・余ってしまったものはフードバンクなどへ寄付することでゴミになる食品を減らせます。

天気や目的地によっては使わないという選択も

- ・天気が良い日は、近くまでなら徒歩や自転車に切り替えてみましょう。
- ・公共交通機関への切り替えや併用を検討する。
- ・集まって移動するときには乗り合わせを検討する。
- ・運転するときにはエコドライブを心掛けましょう。



断熱住宅を選択することで…

室内外への熱の出入りを抑え、夏は涼しく、冬は暖かい快適な室内環境になります。これにより、冷暖房の使用量を抑え、CO₂排出量や光熱費を削減することができます。また、部屋間の寒暖差が小さくなることで、入浴中のヒートショックを予防するなど健康面でも大きなメリットとなります。



LED・省エネ家電の取り入れで…

電灯のLED化や省エネ家電などの買い替えによって手間なく省エネ。まだ使えるから、と古い家電を使い続けていませんか？家電の省エネ化は毎年進んでいますので、この機会に買い替えを検討してみてくださいはいかがでしょうか。



食べ残しをゼロにすることで…

食品ロスとは、本来食べられるにも関わらず捨てられてしまう食べ物のことです。食べ残しをなくせば、食品ロスを削減できます。これによって、食品の加工や輸送など廃棄にかかるCO₂排出量の削減だけでなく、家計の負担も減らすことができます。



テレワークを選択することで…

テレワークはICTを活用した時間と場所を有効に活用できる柔軟な働き方のこと。ワーク・ライフ・バランスの向上や通勤による疲労軽減などのメリットがあります。また、移動に伴うCO₂排出量の削減やペーパーレス化などの環境保全効果も期待されています。

